

ねりま



地域活動ニュース

発行：練馬区立区民協働交流センター

vol.54

練馬区の
地域活動団体などを
毎月紹介しています!



今月の紹介団体 ****



2面

南大泉農の風景育成
地区実行委員会

加藤 義松さん



3面

ときめき隊

安齋 しほこさん



つながるカレッジねりま 公開講座の 聴講生を募集します



つながるカレッジねりまは、地域で活動を始めたいと思う人が集い、学びやスキルアップ、地域とのつながりができる場です。

カリキュラムの中から一部の講座を公開します。

YouTubeでも配信します。

「地域活動の実践と展開」 11月13日(土) 9時30分～11時30分
練馬区立区民・産業プラザ Coconeriホール(練馬区練馬1-17-1 3階)

【講師】齋藤 博(東洋大学ライフデザイン学部准教授)

区内のNPO法人にも参画している講師とともに、「やりたいことを地域活動にするには」「より多くの人を巻き込むには」について実践と理論から考えてみませんか。

【定員】30名(先着順)

【申込み】①講座名 ②会場参加/オンラインの別 ③氏名 ④電話 ⑤住所 ⑥メールアドレスを、11月9日(火)までにポータルサイト(<https://www.collegenerima.jp>)・電話・メールで協働推進課カレッジ担当係へ



【問い合わせ】 つながるカレッジねりま事務局 練馬区地域文化部協働推進課カレッジ担当係
TEL: 03-5984-1613 FAX: 03-3557-1351 E-mail: KYODOSUISHIN04@city.nerima.tokyo.jp

南大泉の農地を守り、魅力を伝えていきたい

南大泉農の風景育成地区実行委員会



実行委員長の加藤 義松さん

住宅地の中に農地が点在する南大泉3・4丁目では、年間を通してさまざまな農作物が作られています。都市部にこれだけ農地が残っているのは世界的にも珍しいそうですが、こうした農地は年々減少しつつあります。この農地を保全し、都市農業の魅力を広く知ってもらうための発信や取り組みをしているのが、南大泉農の風景育成地区実行委員会です。

2011年に東京都が創設した「農の風景育成地区制度」は、減少する農地を守り、農のある

風景を将来に引き継ぐことを目的としたもの。2019年、南大泉3・4丁目が都内4か所目の「農の風景育成地区」に指定されたのを機に、地元の9軒の農家を中心となって、実行委員会が発足しました。

農地の魅力と育成地区の制度を周知するため、まず取り組んだのがイベント開催です。2020年11月、2週間にわたって開催した「南大泉の謎スタンプラリー」は、ブルーベリーや石垣など地域の9か所の『謎』チェックポイントを巡り、スマートフォンでQRコードを読み取って謎を解き、スタンプを集めるというもの。ポイントごとに、動画で地域の歴史や農産物にまつ

わる情報などを学び、全てのスタンプを集めると収穫体験チケットと交換できます。約3,400名が全スポットを制覇し、アンケートの評価も上々で大成功でした!



実行委員会のメンバーたち

このイベントを支えるのは、地域住民や農家の後継者など15名ほどで構成される運営委員会。

ポスターやアプリ、バーチャル映像の制作など、それぞれの知識や経験を総動員したそうです。

「収穫体験を終えた人たちが大根や

ネギを持って楽しそうに歩いている様子を見た時はうれしかったですね。農地があることで潤いを感じられるような地域を目指していきたいと思っています。ただ農作物を育てて収穫するだけでなく、楽しさや面白さをプラスして次世代の子どもたちにも魅力を伝えていければ」と加藤さんは言います。

今年も11月27日・28日にスタンプラリー「南大泉 with 農フェスタ」を開催する予定。写真や絵画のコンテストも行い、南大泉の魅力をさらに多角的に紹介していきたいと意欲的です。ぜひイベントに参加して、南大泉の農の風景を体感してみてください!

■ 南大泉農の風景育成地区実行委員会
実行委員長：加藤 義松
TEL：090-1041-5456
<https://www.minamioizumi.jp/>



「南大泉の謎スタンプラリー」でポイントを集め、後日行われた収穫体験で練馬大根の収穫を楽しむ家族連れ

地域活動団体助成金等情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

■ 公益財団法人トヨタ財団

「2021年度特定課題「外国人材の受け入れと日本社会」

外国人受け入れの総合的な仕組み構築への寄与が期待できる調査・研究・実践活動に対して助成を行います。公募ウェブサイト上の募集要項と、よくある質問をご確認のうえ、ご不明な点がございましたら 下記の問い合わせ先までご連絡ください。

【助成金額】1件あたりの上限額：1000万円程度

【応募期限】2021年11月20日

【関連URL】

<https://www.toyotafound.or.jp/special/2021/migration.html>

【問い合わせ】公益財団法人トヨタ財団

Email: migration@toyotafound.or.jp (担当：利根、甲野)

■ ニッセイ財団「児童・少年の健全育成助成(物品助成)」

次代をになう児童・少年が健やかに育っていくために、定期的に継続して行っている活動を対象とし、活動に常時・直接必要な物品を助成します。

【助成対象】

(1) 自然と親しむ活動、(2) 異年齢・異世代交流活動、(3) 子育て支援活動、(4) 療育支援活動、(5) フリースクール活動

【助成金額】1団体あたりの上限額：60万円

【応募期限】2021年11月末頃(都道府県により異なる)

具体的な期日等は、当財団ホームページに記載の都道府県(行政)の担当部門に確認し、指示に従ってください。

【関連URL】<http://www.nihonseimeizaidan.or.jp/>

【問い合わせ】公益財団法人日本生命財団 助成事業部

TEL：06-6204-4014 FAX：06-6204-0120

みんなで一緒に片づければもっと楽しくなる♪

ときめき隊



安齋しほ子さん(左上)と、メンバーの高山さん、新妻さん、伊川さん(時計回り)

コロナ禍で生活様式が変わっても、毎日の家事の負担は変わらない…。そんなうつうつとした生活を、楽しく片づけることでときめく毎日に変えようと2020年春に活動を始めたのが「ときめき隊」です。

安齋さんを含むメンバーは4人とも、こんまり®流片づけコンサルタント。普段は個々に開催しているセミナーやレッスンを通して、「こんまり」こと近藤麻理恵

さんが提唱する片づけのメソッドを伝える活動をしています。

「自粛生活でうち時間が長くなり、片づけコンサルタントとして私たちに何ができるかを考えました。思い付いたのが、オンラインでつながりながらみんなで洗濯物をたたむことだったんです。そのうち、大勢ならもっと楽しいのではないかと思い、イベントとして定期的に開催するようになりました」と安齋さん。

そうして始まったのが「みんなでたたんでみよう会」。毎回1時間程度で、参加は無料。前半はTシャツなど洋服をコンパクトに収納できる、こんまり®流のたたみ方を学び、後半はおしゃべりを楽しんだり、片づけについての質問に答えたりするそうです。

「衣類のたたみ方を学ぶ機会ってないですよ。コンパクトに服をた



引き出しの高さに合わせ、長方形になるようにたたむのがポイント

たんできれいに収納すると、手持ちの服の量がひと目でわかるようになり、毎日の生活が心地よくなるんですよ」と、安齋さんは言います。

2020年3月から2021年9月までに「みんなでたたんでみよう会」を含む片づけイベントを28回開催し、延べ250名が参加したとのこと。国内・海外を問わずどこからでも参加でき、子どもから高齢者まで家族みんなで楽しめるのが大きな魅力です。

「おしゃべりすることで、お互いに元気をもらえるコミュニケーションの場になっています」「孤独になりがちな片づけもみんなでやることで楽しくできました」とメンバーの皆さんも効果を実感。まさにオンラインによる“令和の井戸端会議”と言えるかもしれません。

現在は月に1回のペースで開催。今後は区内のイベントなどにも積極的に参加していきたいとのこと。

■ときめき隊

安齋しほこ

<https://peraichi.com/landing-pages/view/tokimekitai/>



教えてもらったとおりTシャツをたたむと、なんと立つんです！初めての方は思わず歓声が上がるクライマックスの瞬間

■日本社会福祉弘済会「2022年度 社会福祉助成事業」

少子高齢化が進展し、多様化する福祉需要のなかで社会福祉の向上を目指した“研修事業”や“研究事業”に助成することにより、豊かな福祉社会の実現に寄与することを目的としています。

【助成対象】

1. 研修事業

- ・福祉施設職員等が幅広い視野と専門性を持って福祉サービスの支援業務向上に携わるために実習する研修事業
- ・地域住民等を対象に、福祉サービスのあり方や専門的知識・技能の習得などをテーマとして開催される集合研修事業（研修会、セミナー、講演会など）

※対象経費：講師謝金・交通費・宿泊費・会場費・報告書作成費

2. 研究事業

- ・福祉サービスの向上等を目的とした先駆性ある事業の実践を通して行われる研究事業
- ・社会福祉関係者の専門性の向上、現任訓練の方法や体系、また就労、福利厚生などをテーマとする調査研究事業

※対象経費：研究事業費・調査経費・謝金・原稿料・報告書作成費

【助成金額】1件あたりの上限額：50万円（助成対象経費合計の80%以内）

【関連URL】<https://www.nissshasai.jp/>

【応募期間】2021年11月1日～12月15日

【問い合わせ】公益財団法人日本社会福祉弘済会 助成事業係
TEL：03-5858-8125

■雨宮児童福祉財団「2021年度 修学助成金」

児童福祉施設に入所している児童及び里親に委託されている児童の修学を援助します。

【助成対象】全国の児童福祉施設に入所している児童および里親のもとで養育されている児童で、2022年3月に高校卒業後、4月に「大学」「短大」「専門学校」等に入学を希望する者。

【助成内容】1人あたり20万円

※返済義務はありません。

※民間団体からの奨学金を利用する方は対象外。

【応募期限】2021年11月18日

【関連URL】<https://www.keyence-foundation.or.jp/>

【提出先】公益財団法人 雨宮児童福祉財団

〒102-0076千代田区五番町12-7 ドミール五番町1-061
TEL：03-5276-2421



練馬つながるフェスタ2022実行委員会・練馬区主催

練馬つながるフェスタ 2022

1分動画大募集!!

今回の「つなフェス」では、地域活動団体の皆様から動画を募集します！
集まった動画は後日、「つながる動画2022」として1つにまとめ、YouTube等で公開予定！

たくさんのご応募お待ちしております！

【応募要件】

- ① 練馬区内で活動している地域活動団体であること
- ② 動画は1分程度で、団体の活動内容やイベント情報等の内容であること
- ③ 動画の最後に、「地域活動でつながる出会い・つながった出会い」をテーマにコメントを入れること

【申込み】

先着 40 団体 ①団体名、②連絡先を下記までお知らせください。

【締切】

11月22日(月)

【動画提出期間】

12月8日(水)～17日(金)

※12月7日頃に動画の提出(アップロード)先をメールにてご案内します。

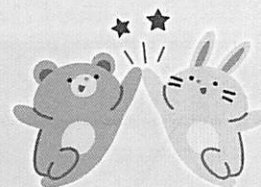


※つながる動画2022画像

動画作成の参考に...

サンプル動画をご覧ください!

※YouTube「区民協働交流センターチャンネル」にジャンプします



一緒にご飯を作る

- ・ 畑で食育
- ・ 子供服フリマ、ベビー用品掲示板
- ・ ママの特技を生かした企画
- ・ 本部のイベントのお手伝い

いろいろやってるよー!!



【問い合わせ】練馬区立区民協働交流センター TEL: 03-6757-2025 E-mail: KYODOSUISHIN02@city.nerima.tokyo.jp

練馬区立区民協働交流センター(つながる窓口)

区民協働交流センター(つながる窓口)では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。



facebook



<https://www.facebook.com/Nerimakyodokoryucenter/>

練馬区立区民協働交流センター フェイスブック 検索



twitter



https://twitter.com/kyodo_nerima

練馬区立区民協働交流センター ツイッター 検索

ホームページ



<http://www.nerima-kyodo.com/>

練馬区立区民協働交流センター 検索

練馬1-17-1ココネリ3階 TEL:03-6757-2025 年中無休 9時～22時(12/29～1/3は休業)
事業の実施等により開館時間に変更となる場合があります。

★音声でお読みいただけます 「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。
ご希望の方は一歩の会にお申し込みください。NPO法人点訳・音声訳集団一歩の会 練馬区高松2-16-12 TEL:03-3577-5666